

機械器具 3 医療用消毒器
小型包装品用高圧蒸気滅菌器 JMDNコード 38671020
管理医療機器 特定保守管理医療機器

スーパークレーブMOH350

***【警告】**

1. 滅菌室の針が「0」の時以外は絶対にドアを開けないこと。[火傷や怪我をする恐れがあります。]
2. 滅菌器、被滅菌物は高温になるので火傷に注意すること。

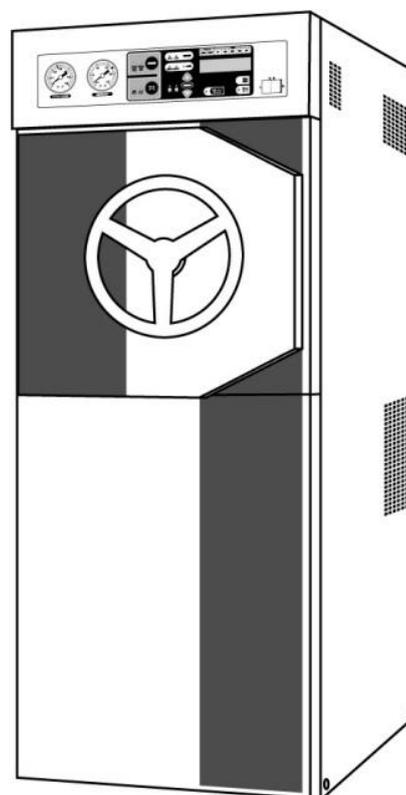
【禁忌・禁止】

1. 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物を入れて滅菌しないでください。(滅菌不良を起こしたり、故障の原因になります。)
2. 培地・液体・薬品を滅菌しないでください。
(薬品類は爆発を起こしたり、滅菌室を腐食させるものがあり、火傷や怪我の原因になります。)
3. 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないこと。(防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。)
4. 作動させたまま外出は危険です。診療終了後、本器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は、万一異常が発生した場合対処が行えず事故につながるおそれがありますので絶対に行わないでください。
5. 被滅菌物を直接スノコ板に置かない。被滅菌物を焦がす原因になりますので必ず専用のカスト等を使用してください。

【形状・構造及び原理等】

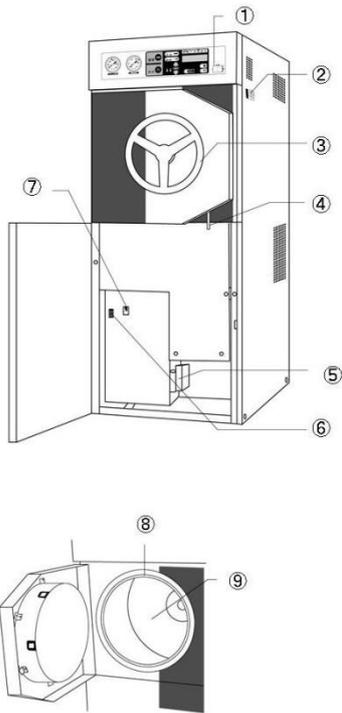
<各部の名称>

本体外観図



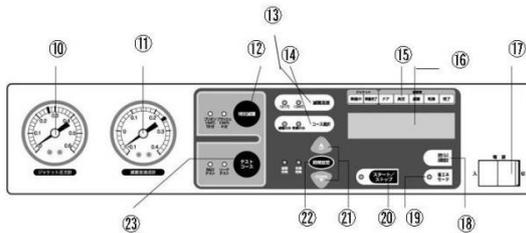
取扱説明書を必ずご参照ください

本体



NO	名 称
1.	コントロールパネル
2.	電源定格板
3.	ハンドル
4.	ロック解除シャフト
5.	地震感知装置
6.	制御用ブレーカー
7.	主電源
8.	ドアバッキング
9.	滅菌室（チャンバー）
10.	ジャケット圧力計
11.	滅菌室連成計
12.	特別滅菌キー
13.	滅菌温度キー
14.	コース選択キー
15.	工程表示ランプ
16.	液晶ディスプレイ
17.	電源スイッチ
18.	真空パルス回数設定キー
19.	省エネモードキー
20.	スタート/ストップキー
21.	UP/DOWNキー
22.	時間設定キー
23.	テストコースキー

詳細については取扱説明書の「4. 各部の名称」及び「5. コントロールパネルの名称」の章を参照。



【作動・動作原理】

本器に内蔵されている蒸気発生装置は水を加熱して蒸気を発生させ、ジャケットに供給する。

ジャケットに蒸気が溜まり、設定温度に到達すると運転が開始できる状態となる。

被滅菌物を滅菌室に収納しドアを閉め、運転が開始されると、真空ポンプにより滅菌室内の残留空気が排除される。その後、ジャケットから滅菌室に蒸気が供給され圧力と温度が上昇していく。滅菌設定温度に到達すると滅菌工程を開始する。

飽和蒸気の湿熱により被滅菌物が滅菌される。

滅菌工程が終わると蒸気を冷却タンクに排気する。

設定時間、乾燥を行い完了となる。

<品目仕様等>

スーパークレーブ MOH350

項目	仕様
外寸法	W582×H1465×D971（ハンドル部含まず）mm
チャンバー内寸/ 容量	φ350×626（奥行有効）mm 容量（有効）60リットル
給蒸方法	蒸気発生装置内蔵
空気脱気方式	真空パルス方式
滅菌温度・時間	121℃ 20分～90分 134℃ 4分～90分
乾燥方式・時間	バキューム方式 0分～90分
電源設備	AC200V 三相 30A以上 50/60Hz
給水設備 排水設備	給水管に接続 排水管に接続
消費電力	6kW
重量	280kg
電撃に対する保護形式	クラスⅠ機器 B形
EMC規格	JIS C 18061-1 計測・制御 及び試験室使用の電気装置- 電磁両立性（EMC）要求 適合
認証基準	JIS T 7324 医療用小型高 圧蒸気滅菌器 適合

【使用目的又は効果】

<使用目的>

微生物を不活性化する滅菌材として湿熱（水蒸気）を利用した医療用の滅菌器で、包装された手術器具等を滅菌するための運転サイクルを有する装置。

【使用方法等】

1. 電源スイッチを「入」にする。
準備中のランプが点灯し、蒸気を生成する。
ジャケットに蒸気が溜まり設定温度に到達すると準備完了となる。
準備中のランプが消灯し、準備完了のランプが点灯する。
2. ドアを開ける（ハンドルを反時計方向に回して解放する）。
3. 被滅菌物を滅菌室に収納する。
4. ドアを閉める（ハンドルを時計方向に回して締め付ける）。
5. コントロールパネルでコース設定をする。
6. スタート/ストップキーを押す（以下は自動工程）。
（ア）真空ポンプが作動し、滅菌室の空気を排除する。
（イ）滅菌温度に達すると滅菌工程に移る。
（ウ）滅菌工程が完了すると乾燥工程に移る。
（エ）全工程が完了すると「完了ランプ」が点灯し、電子音が鳴る。
7. 完了後、被滅菌物を取り出す。
8. ハンドルを反時計方向に回して締付を解除し、ドアを開ける。
9. 被滅菌物を滅菌室から取り出す。

詳細については取扱説明書の「7. 操作方法」の章を参照。

【使用上の注意】

1. 本器は電源を入れておくと常に蒸気を作っていますので、滅菌室や滅菌室周辺、ドア周辺は高温になっています。触れないよう注意してください。
やけどの原因になります。
2. 被滅菌物同士は、出来るだけ隙間を空けて収納してください。詰め過ぎると蒸気の浸透が妨げられ滅菌できない恐れがあります。バイオロジカルインジケータを用いて、被滅菌物の収納状態・量等の滅菌条件を決定してください。
3. 滅菌性能は被滅菌物の入れ方などで変わります。ケミカルインジケータを被滅菌物と一緒に収納し、滅菌完了後、変色が良好であることを確認してください。
4. 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用してください。

取扱説明書を必ずご参照ください

5. 異常時（焦げ臭いなど）は、スタート/ストップキーを押し、運転を停止し、電源スイッチを「切」にします。本体下部の扉を開け主電源を「OFF」にしてください。

詳細については取扱説明書の「3.  安全上のご注意」及び「7. 操作方法  操作上のご注意」の章を参照。

【保管方法及び有効期間等】

<耐用期間>

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して製造出荷後7年。（自己認証による）

使用環境・保管条件

使用環境	周囲温度： 5～40℃ 相対湿度： 85%RH 以下 （結露なし） 気圧： 790hpa～1014hpa
保管条件	周囲温度： 5～40℃ 相対湿度： 85%RH 以下 （結露なし） 気圧： 790hpa～1014hpa

*【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

1. 保守点検、清掃は主電源を「OFF」にして、本器が冷めていることを確認してから行ってください。
2. ドアパッキンの汚れを掃除するときはアルコールを柔らかい布にしみ込ませ拭いてください。破損が無いかも確認してください。ドアパッキンに破損がある場合は専門業者に交換を依頼してください。
/毎日
3. この製品は労働安全衛生法の「ボイラー及び圧力容器安全規則」により小型圧力容器に該当する為、定期自主検査が義務づけられております。
/1年に1回

<業者による保守点検事項>

1. 2年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。

詳細については取扱説明書の「9. 定期点検」「10. お手入れ方法」及び「11. 故障かな?と思ったら」の章を参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社
埼玉県鴻巣市宮前 547-1
TEL 048 (595) 0380

製造元

ヒルソン・デック株式会社
埼玉県鴻巣市宮前 547-1

取扱説明書を必ずご参照ください